## イネイト活性療法の検査進行例

(術者の前提として原因の割合の大きなものから検出するとしておく)

◎心身または身体の上下左右区分により検査部位を絞り込む
ロメンタル ロフィジカル 口上半身 口下半身 口表面 口内面
□頭頸関節 □C7 □T7 □L1 □腰仙関節 □鼠径部 □膝関節など
◎系統・器官を特定する ※より細かな組織の選定は文献などを参照
□脳 □大脳(前頭葉・頭頂葉・側頭葉・後頭葉)□間脳(視床・視床下部・松果体・脳下垂 体)□小脳 □脳幹(中脳・橋・延髄)
□神経系 □脊髄(頸髄・胸髄・腰髄・仙髄・尾髄)□自律神経(交感神経・副交感神経) □その他の末梢神経(部位ごと)
□筋系 □頭頸部 □顔面部 □上肢 □肩部 □背部 □胸部 □腹部 □腰部 (外部・内部) □臀部 □大腿部 □下腿部 □足部 □筋膜 □腱 □靭帯 □受容器
□骨格系 □頭蓋 □頸椎 □鎖骨 □肩甲骨 □胸椎 □肋骨 □腰椎 □仙骨 □尾骨 □腸骨 □恥骨 □上腕 □前腕 □手部 □大腿 □下腿 □足部 □関節 □軟骨 □関節包 □受容器
□呼吸器系 □上気道(鼻腔・咽頭・喉頭)□気管 □気管支 □細気管支 □肺(実質・間質) □胸膜 □胸郭 □横隔膜
□消化器系 □□腔 □唾液腺 □咽頭 □食道 □胃 □十二指腸 □空腸 □回腸 □盲腸 □虫垂 □結腸(上行・横行・下行・S状)□直腸 □肛門 □肝臓 □胆嚢 □膵臓 □腹膜

□循環器系
□心臓(動脈・静脈・外膜・心筋・弁・内膜)□動脈 □静脈 □門脈 □毛細血管 □脾臓
□泌尿器系
□腎臓(皮質・髄質・腎杯・腎盂) □尿管 □膀胱 □尿道 
口内分泌系
□視床下部 □脳下垂体 □松果体 □甲状腺 □副甲状腺 □胸腺 □副腎 □膵臓 □精巣□卵巣
ロリンパ系
□扁桃 □胸腺 □リンパ管 □リンパ節 □パイエル板 □脾臓 □虫垂 □骨髄
口外皮系
□皮膚 □皮下組織 □毛髪 □手・足爪 □汗腺 □皮脂腺 □乳腺
□生殖器系
□精巣 □精巣上体 □精管 □精囊 □前立腺 □陰茎 □尿道 □陰嚢 □乳腺 □卵巣□卵管 □子宮 □子宮間膜 □膣 □外陰部
□感覚器系
□視覚器 □聴覚器 □嗅覚器 □味覚器 □触覚器
◎病態・状態を特定する
□設置障害 □周波数異常 □プログラム障害 □循環システム障害 □緊張 □弛緩 □萎縮 □軟化 □硬化 □変形 □位置異常 □むくみ □浮腫 □膨張 □拘縮 □癒着 □炎症 □充血 □鬱血 □血栓 □傷 □解離 □老廃物の蓄積 □重金属の蓄積 □電磁波障害 □細菌感染 (コロニー・芽胞) □真菌感染 (コロニー) □ウイルス感染 □寄生虫感染 (成虫・卵・死骸の石灰化) □微細骨折 □骨の小傷 □骨密度の低下 □骨強度の低下 □細胞数の減少 □細胞の異常 □異常細胞